



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-40

(2022. 7. 1)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の地公体向け貸出の動向（2021年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 2021年度末の信用金庫の地公体向け貸出金残高は、前期比2.2%、1,209億円減少の5兆1,723億円となり、4年連続で前期を下回った。
- 地区別の地公体向け貸出金残高は、2011年度末比で北海道と東京が減少し、他の9地区は増加した。なかでも東北が4割増、北陸、関東、東海はそれぞれ3割増となっている。
- 信用金庫別の地公体向け貸出比率を2011年度末と2021年度末で比較すると、①上昇が123金庫、②低下は125金庫となった。
- 2021年度末の信用金庫別の地公体向け貸出比率は、①残高なしが7金庫、②5%未満が63金庫、③5～10%未満が71金庫、④10%以上は113金庫となった。

➤

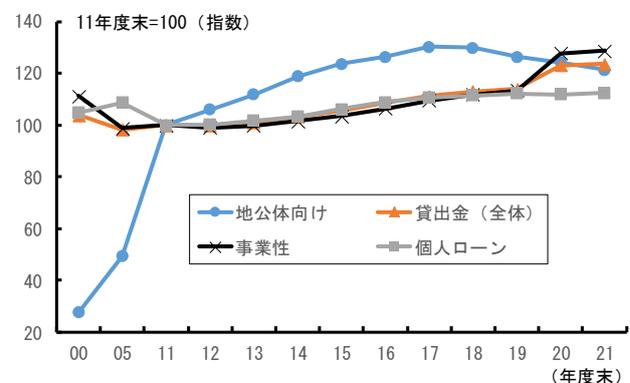
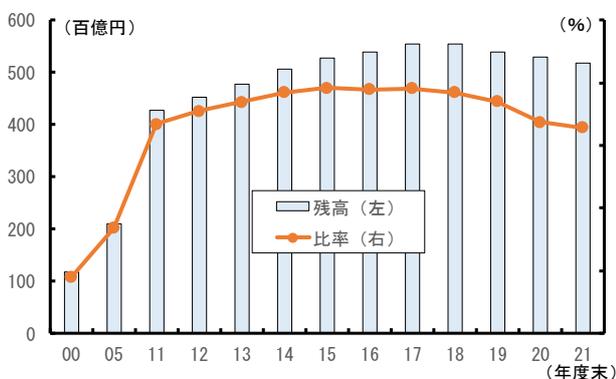
1. 全国の場合

2021年度末の信用金庫の地公体向け貸出金残高は、前期比2.2%、1,209億円減少の5兆1,723億円となり、4年連続で前期を下回った（図表1）。信用金庫の地公体向け貸出は2000年～2010年頃にかけて残高を大きく伸ばしたが、他業態との競争激化などから近年は伸び悩み傾向にある。ただし一般に地公体向け貸出は金利が低いものの、1先あたりの金額が大きいこと（2021年度末の1先平均残高20.4億円）などから、引き続き積極的に取り組む信用金庫は多い。

2011年度末を100として指数化し地公体向け貸出の変化状況をみると、貸出金残高が123.5、地公体向け貸出は121.3となり、この10年はほぼ並行して動いている（図表2）。

（図表1）地公体向け貸出金残高の推移

（図表2）地公体向け貸出金残高と貸出金残高の変化比較



- （備考）1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
3. 図表1から5まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

2021年度末の地公体向け貸出金残高は、北海道が2011年度末比19.3%、東京は10.3%、それぞれ減少した（図表3）。増加率の最大の地区は東北で43.7%増となり、北陸、関東、東海がこれに続いた。地区別の地公体向け貸出比率をみると、北陸の18.6%が目立つ。

（図表3）地区別の地公体向け貸出金残高

（単位：百億円、%）

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		比率	1金庫あたり 残高
						増減額	増減率		
北海道	29.1	44.3	61.0	52.5	49.2	△11.7	△ 19.3	14.2	2.4
東北	7.2	14.5	28.3	40.1	40.7	12.3	43.7	15.3	1.5
東京	1.6	3.3	5.8	5.1	5.2	△ 0.6	△ 10.3	0.3	0.2
関東	21.9	36.6	75.9	103.4	100.5	24.5	32.2	7.0	2.0
北陸	6.9	11.9	23.7	34.1	32.3	8.6	36.2	18.6	2.1
東海	20.0	29.7	86.4	113.0	112.4	25.9	30.0	7.0	3.3
近畿	17.0	40.0	91.4	120.5	115.3	23.9	26.1	6.7	3.9
中国	5.5	11.4	26.1	29.0	29.4	3.3	12.7	8.5	1.4
四国	2.8	4.2	8.6	10.6	11.1	2.5	29.5	9.4	1.1
九州北部	1.5	5.8	6.7	6.9	7.3	0.6	9.7	5.1	0.5
南九州	3.2	6.8	10.8	12.4	11.7	0.9	8.4	7.0	0.9
全国	117.6	210.4	426.3	529.3	517.2	90.8	21.3	6.5	2.0

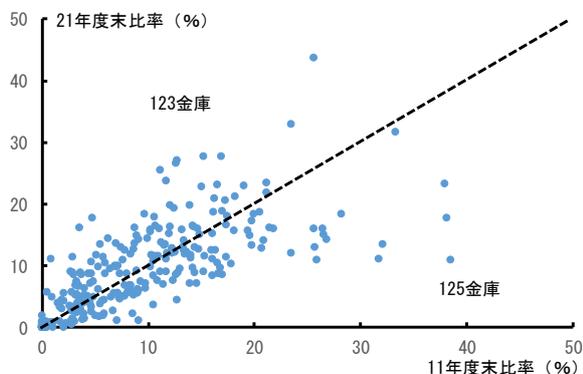
（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

信用金庫別の地公体向け貸出比率を2011年度末と2021年度末で比較すると、①上昇が123金庫（構成比48.4%）、②低下は125金庫（同49.2%）と拮抗した（図表4、変化なしを除く）。

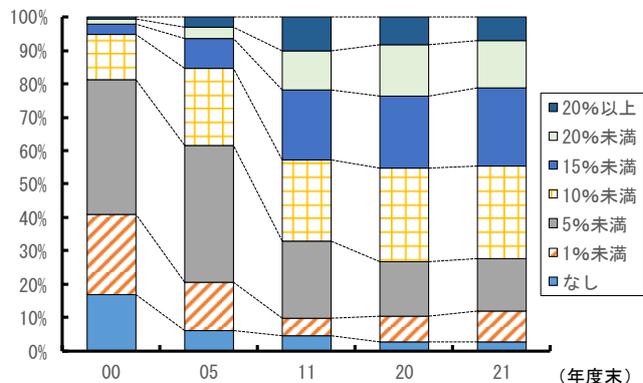
2021年度末の信用金庫別の地公体向け貸出比率は、①残高なしが7金庫（同2.7%）、②5%未満が63金庫（同24.8%）、③5～10%未満が71金庫（同27.9%）、④10%以上は113金庫（同44.4%）となった（図表5）。なお、2021年度末に地公体向け貸出比率が30%を超える信用金庫は3金庫あり、2011年度末の7金庫から減少した。

（図表4）地公体向け貸出比率の変化
（11・21年度末）



（備考）変化なしを除く248金庫

（図表5）信用金庫別の地公体向け貸出比率



以上